

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	診療報酬体系見直し後の評価等に係る調査に必要な経費（「急性期の包括評価に係る調査に要する経費」及び「DPC制度の見直しに係る調査経費」）		担当部局庁	保険局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	医療課	鈴木 康裕		
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	診療報酬調査専門組織運営要綱(平成15年7月1日)中央社会保険医療協議会了解事項		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	DPCは、「急性期入院医療の診断群分類に基づく、1日当たりの包括評価制度」であり、平成23年4月現在で、我が国の一般病床の約51.8%を占める診療報酬評価制度である。 当該調査は、中央社会保険医療協議会の付託を受けたDPC評価分科会のもとで、DPC制度導入による診療内容等の影響評価とともに、今後のDPC制度の継続的な見直しのために必要なデータを得ることを目的としているものである。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	DPC対象病院及びDPC準備病院に対して以下を実施しているものである。 ①通常調査：DPC制度導入の影響を検証するため、退院及び転棟患者を対象として、傷病名・治療行為等のデータ収集を実施する調査 ②特別調査：再入院・再転棟の頻度やその理由等に係る調査、適切な診療報酬の請求に関するアンケート調査、調整係数見直しに伴う医療機関別係数の設定に係る調査など、医療機関を対象として実施する調査 ③その他調査関連補助業務：診断群分類や包括範囲の妥当性を検証するためのMDC(診断群分類を疾患分野別に大別した主要診断群分類)毎作業班及び関連委員会の運営、DPC評価分科会、中央社会保険医療協議会の資料作成補助業務等の実施						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	646	499	680	548	548
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	646	499	680	548	548
	執行額	646	496	485	-	-	
執行率(%)	100	99.4	71.3	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	全てのDPC対象病院及びDPC準備病院に対して、DPC制度導入による診療内容等の影響評価に係る調査を実施するものであり、定量的な指標を定めることは困難である。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	DPC対象病院及びDPC準備病院に対して、DPC制度導入による診療内容等の影響評価に係る調査を実施するものであり、定量的な指標を定めることは困難である。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
				-	-	(-)	(-)
単位当たりコスト	-(円/)		算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	通常調査	312	312				
	特別調査	117	117				
	診断群分類の妥当性の検討	39	39				
	DPCデータの目的外使用への対応	6	6				
	その他共通経費	74	74				
計	548	548					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	執行額については、一般競争入札による結果であり、特段の問題はないと判断。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の必要性が認められるため、引き続き事業内容及び予算規模を維持すべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省保険局医療課
485百万円

中央社会保険医療協議会の付託を受け
たDPC評価分科会の事務局として、本調
査の総指揮、命令を行う。

【一般競争入札】
(総合評価落札方式)

A. 株式会社健康保険
医療情報総合研究所
485百万円

DPC調査事務局を設置し、全DPC対象
病院及び準備病院の施設情報、入院患
者ごとの診療録情報・レセプト情報を電子
媒体にて毎月収集し、診断群分類の継続
的な見直しを行うためのデータ蓄積・分析
を行う。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 株式会社 健康保険医療情報総合研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	データ分析、報告書作成など	380			
経費	通信運搬費、消耗品費、図書購入費など	40			
その他	一般管理費、消費税	65			
計		485	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 健康保険医療 情報総合研究所	急性期の包括評価に係る調査に要する経費及びDPC制度の見直し に係る調査経費	485	3	87.3
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					